

少年育成センター

一般用 72-5039
FAX 72-5497
少年相談 72-5024

昨今、幼い命が絶たれるという、痛ましい事件が次々と発生していることは、皆さんもよくご存じのとおりです。それが遠くのことであっても安心できるものではなく、いつどこで私たちに降りかかってくるか分かりません。

そこで、何か良い手立てを考えて、ひとつの命も絶やすことのないよう守っていかねければなりません。既に、市内の各地区で子ども安全パトロールや見守り隊が発足しており、老人会や保護者会等、あるいは個人の散歩コースを通学路に変えて不審者がいないか監視したり、お母さんや自治会の年配の方が子どもを送迎するなど、いろいろなところで意識が高まり、動き

が見え聞こえてきています。

当育成センターでも通常の巡回補導に加えて、5月から通学路周辺のパトロールを実施しています。巡回していても、児童生徒の姿が一人も見えないと寂しく不安になってきますが、黄色い帽子が遠くの方でチョコチョコと動くのが見えてくるとホッとします。道端にしゃがみ込んでじつくりと自然観察(?)。近づいてわきに車を止め、窓を開けて「こんにちは」「コンニチワ」。上級生の中には「ごくろうさまです」「うれいなし」、向こうの方で「なにやさん?」「ガクツ」。でも(ああ、そうか。まだカタカナを習っていないけど、パトロールのバはパンやさんのバでもあるから...)と変に納得、「じゃあ、さよなら、気をつけてな」「さよなら」。

こんな光景がいつまでも続くことを信じて次の地点に向かいます。

もうすぐ夏休み。開放的な夏には、また別の犯罪が待っているかもしれないですね。

子どもが安心して安全に暮らせるまちを目指して



～高瀬町「子ども110番の車」活動開始～

三豊市内の各地で子どもたちを犯罪から守るためのさまざまな取り組みが行われています。

高瀬町PTA連絡協議会が「子ども110番の車」のステッカー2,300枚を作成し、保護者等に配布しました。

子どもたちが身の危険を感じたとき、このステッカーが貼ってある車に助けを求めるほか、ステッカーを貼った車を地域内で運転することで、不審者の侵入を抑止し、地域住民の防犯意識の高揚を図ることを目的としたものです。

保護者の皆さんは早速自動車にステッカーを貼り、子どもたちを守る活動を始めています。

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年7月を強調月間として展開されます。

犯罪や非行について、自分には関係ないと思っ
ていませんか? 一人ひとりが、犯罪や非行を地域全体の問題として受け止め、地域・家庭・学校が一体となってこの問題に取り組むことが大切です。
皆さんのご理解とご協力をお願いします。

子どもや子育てに関する気持ちを『17文字』に込めて!

三野保育所で初めての試みとして、お父さんやお母さんから子育てに関する気持ちを17文字に込めたメッセージを募ったところ、約40通の心温まる子育てメッセージが届きました。

その一部を紹介します。

- ・愛しくて ぎゅっと抱きしめ ほほよせる
- ・寝ていると かわいいのにと パパが言い
- ・「おかあちゃん」 何の夢かな その寝言
- ・小さな手 伝わる気持ち あつたかい
- ・すごいでしょ キラキラおめめ 得意顔
- ・泥んこの 手のひら中には 無限大
- ・あなたの笑顔が 一番のはげみ
- ・紅葉の手 何度もその手に 癒される
- ・「いやよー」と 腹は立つけど 子の成長
- ・だんご虫 子どもと見ると かわいいな
- ・子が寝たら やれやれじゃなく 家事本番
- ・エネルギー補給 ギューと抱きしめ パワー全開
- ・果てしない あなたの根問い 夢いっぱい
- ・小さな手 でっかい夢を 手探り中
- ・じまんげに 野菜を食べる 親を見て
- ・小さな手 守ってあげる 大きな愛で



三野保育所

72-5343